

伊東静雄さんが出会った文学者たち

しょうのじゅんぞう
庄野潤三

住吉中学校時代の教え子です。自伝的小説『前途』には伊東さんから文学的アドバイスを受けるシーンが出てきます。

あんざいふゆえ
安西冬衛

堺出身の詩人、安西さんとも交流があり、お互いの出版記念会に参加する仲でした。

みよしたつじ
三好達治

伊東さんの初期の作品について批判していましたが、後期の作品は高く評価しています。

なかはらちゅうや
中原中也

伊東さんの出版記念会が東京で開催された際、食事にそつてくれ、家に泊めてくれました。

たちほらみちぞう
立原道造

伊東さんは立原さんの詩を高く評価していました。立原さんが亡くなったことを聞いて「沫雪」という詩を詠みました。

みしまゆきお
三島由紀夫

伊東さんを敬愛していた三島さんは『花ざかりの森』の序文を書いてもらうため、伊東さんの家を訪れました。

伊東静雄さんを知る

みはら
美原をしらべよう 3

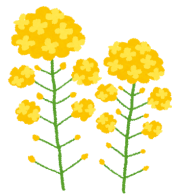


美原には伊東静雄さんという詩人が住んでいました。

伊東さんの作品には美原の自然をうたったものも残されています。伊東さんはどんな人だったのでしょうか。

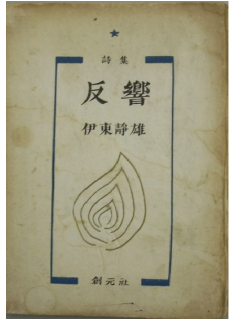
伊東静雄さんって、どんな人？

ねん ながさきけんきたたかきぐんいさはやちよう う きようていこく
1906年12月10日、長崎県北高来郡諫早町に生まれ、京都帝国
だいがくぶんがくぶこくぶんか すす じ き けんしやうほしゆうじどう えいが
大学文学部国文科に進みました。この時期、懸賞募集児童映画
きやくほん どうわ うつく ほうばいたち いったうとうせん えいがか
脚本の童話『美しき朋輩達』が一等当選となり映画化されまし
だいがくそつぎようご おおさかふりつすみよしちゆうがっこう げんざい すみよしこうとうがっこう
た。大学卒業後、大阪府立住吉中学校（現在の住吉高等学校）の
せんせい なかま どうじんし ろ はっこう
先生になりました。1932年に仲間と同人誌『呂』を発行しまし
ししゆう あた あいか だ
た。1935年にはじめての詩集『わがひとに与ふる哀歌』を出して
はぎはらさくたるう しん ほんしつてき じよじようしじん ひようか
萩原朔太郎から「真の本質的な抒情詩人」と評価されました。この
だいいかいぶんげいはんろんしやう じゆしやう おおさかし
詩集は第2回文芸汎論賞を受賞しています。1936年に大阪市から
さかいしきたみくにがおかちよう ひ こ なつはな きたむらとうこく
堺市北三国ヶ丘町に引っ越して『夏花』（第5回北村透谷賞を受
はる だいくろしゆう いえ
賞）『春のいそぎ』の2つの詩集を出版しました。堺大空襲で家
も みはらく たんじよう ひらおむらすごう
が燃えてしまい、1945年から美原区の丹上、そして平尾村菅生、
さいご くらやまむらきたあまべ ひ こし はんきよう
最後に黒山村北余部に引っ越しました。1947年に詩集『反響』を
の ちい てちよう だい
出版しました。この詩集に載せられた「小さい手帖から」と題され
べん あと か さくひん の かんがいすいろ
た10篇は北余部に引っ越した後に書かれた作品で、野・灌漑水路・
いけ とくちよう でんえんふうけい うた
ため池など、美原を特徴づける田園風景が歌われています。1948
がくせいいかく ふりつ あ べ の こうとうがっこう てんきん
年に学制改革のため、府立阿倍野高等学校に転勤しました。その年
はいけつかく こくりつおおさかびよういんがのぶんいん にゆういん
に肺結核になり、国立大阪病院長野分院に入院し、1953年3月12
にち さい な はか
日に46歳で亡くなりました。お墓はふるさと諫早に
こうふくじ な
ある広福寺にあります。亡くなった日は「菜の
はなき よ ひとびと
花忌」と呼ばれ、いまも人々にしたわれています。



どんな詩を詠んだの？

にほんご ひび きれい しさく ふか たか ひようか
日本語の響きの華麗さと思案の深さが高く評価され
しよき さくひん なんかい い さくふう
ています。初期の作品は難解と言われる作風でした
こうき こうごし か
が、後期はわかりやすい口語詩へ変わりました。美原
さくひん こうき
で詠まれた作品は後期のものです。



伊東静雄さんが見た風景を歩いてみよう

いえ はぎはらてんじんえき
伊東さんは美原の家から萩原天神駅まで歩
かよ ゆうばえ
いて通っていました。『夕映』という詩にて
むら じゆうじろ ちい いし
てくる「村の十字路とそのほとりの小さい石
ほこら きたあまべ のこ
の祠」は北余部にまだ残っています。



よ けしき さが
詩に詠まれた景色を探してみませんか？

伊東静雄さんの詩を探しに行こう

- くやくしよ かいてんぼう こみち
○美原区役所6階展望ロビー 伊東静雄「詩の小径」
し ひ としよかん いりぐち
○「夕映」の詩碑（美原図書館の入口）
とうだい ひかり しせききゆうさかい
○「燈台の光をみつつ」の詩碑（史跡旧堺燈台）
ひやくせん おおさかしあべのくまつむしどお
○「百千の」の詩碑（大阪市阿倍野区松虫通り）
こうや うた
○「曠野の歌」の詩碑（住吉高等学校）
みつ こうえん
○「そんなに凝視めるな」の詩碑（長崎県諫早公園）
わしざきこうさてん
○「咏唱」の詩碑（諫早市鷺崎交差点）

